

地域密着型金融の推進

地域密着型金融の推進こそが当行の使命であると認識し、お客さまに対する円滑な資金供給や本業支援の実践に取り組んでいます。また、その取組状況をホームページ等で定期的に公表しています。

▶ 中小企業の経営支援に関する取組み

取組み方針

当行は地域密着型金融を銀行の本分として、お客さまに対する円滑な資金供給や経営支援など、その実践に取り組んでまいりました。

また、経済環境などの大きな変化を背景に、金融仲介機能の発揮への社会的要請が一層高まりを見せるなか、お客さまの成長ステージに合わせた、より適切かつきめ細かな対応を行っていくため、右の基本方針の遵守に努めています。

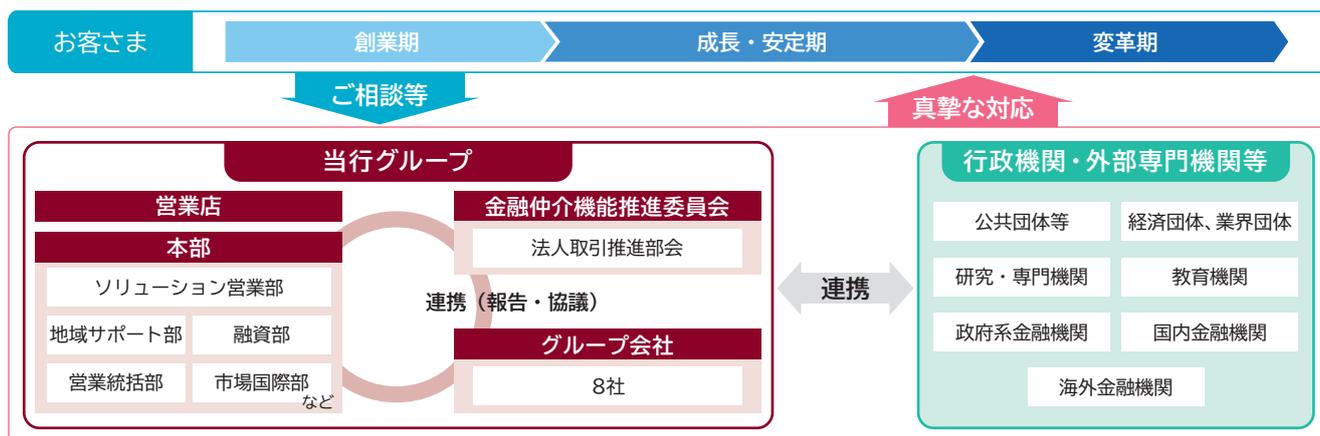
本方針のもと、お客さまの経営支援に関するさまざまな取組みを組織的かつ継続的に推進しています。

基本方針

1. 金融仲介機能の発揮
 - ・ 地域への円滑な資金供給
 - ・ 取引先企業への成長支援
2. コンサルティング機能の発揮
 - ・ ライフステージに応じたソリューション営業
 - ・ 担保、保証に過度に依存しない融資姿勢
 - ・ 金融円滑化に向けた継続的な取組み
3. 地方創生・地域活性化への積極的な関与
4. 地域に対する積極的な情報発信

態勢整備の状況

お客さまの成長ステージに合わせて、経営全般の課題に応じたソリューションを提供するとともに、必要に応じて外部専門機関等と連携しながらコンサルティング機能を発揮し、きめ細かな対応を行っています。



ソリューション営業態勢の強化

「ソリューション営業部」を中心に、グループ会社の機能も活用しながら企業や経営者の皆さまが有するさまざまな課題の解決に取り組んでいます。



▶ 創業期における具体的な取組み

創業・新事業支援

起業される方や、創業間もない企業の皆さまに向けて、本部の「創業・新事業支援チーム」と営業店が連携し、きめ細かな支援を行っています。

また、埼玉県よろず支援拠点と連携し、事業計画策定や販路拡大といった創業・起業時のお悩みに専門スタッフが対応する相談会を継続的に開催しているほか、日本政策金融公庫と連携し、事業拡大のヒントとなるセミナーや経営者同士の交流会なども開催しています。

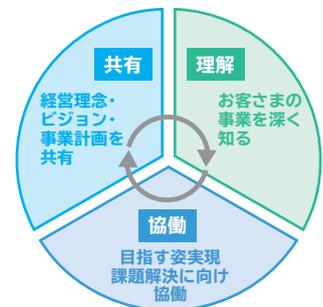
「むさしの創業支援融資」や「むさしの創業応援サービスパック」の取扱い		ご相談やお問い合わせにお応えする「創業サポートデスク」を設置しています。  アクセスはこちら
各種補助金の申請支援	埼玉県信用保証協会や日本政策金融公庫との連携	
埼玉県よろず支援拠点との連携	公的機関の支援サービス紹介	

▶ 成長・安定期における具体的な取組み

本業支援態勢の強化

本業支援の専門組織「コンサルティング営業室」をはじめとした本部と営業店が一体となり、経営者の皆さまとの対話を通じてニーズを共有するとともに、さまざまな経営課題の解決に向けた総合的な支援を行っています。

事業性評価カルテや、知的資産マネジメント支援機構株式会社と連携した事業性評価ツールを活用し、一社一社の経営課題や潜在的ニーズを的確に把握することで、本業支援の更なる充実に繋げています。



サステナビリティ経営支援の取組み

お取引先企業のサステナビリティ経営を後押しするため、一社一社の取組みの見える化から環境へのインパクト評価まで、取組みステージに応じた多様なファイナンスおよびコンサルティング商品のラインナップを揃えています。



課題解決を支援するコンサルティングサービス

お取引先企業の経営課題解決や新たな事業展開をサポートする各種コンサルティングサービスをご用意しています。



多様な融資手法の取扱い

事業のキャッシュフローに着目し融資を行う「プロジェクトファイナンス」や、資金調達とあわせて企業のイメージアップに繋がる「私債」、お客さまが保有する商品在庫や売掛金を活用した「ABL」など、さまざまな融資手法をご提案しています。

● シンジケートローン

複数の金融機関による協調融資団を組成し、調達手段の多様化・財務合理化を図るシンジケートローン手法を活用した資金供給に取り組んでいます。

また、アライアンスにもとづく千葉銀行とのシンジケートローン共同組成にも取り組んでいます。



ビジネスマッチング

お取引先企業のニーズに独自のネットワークを活かした最適なビジネスパートナーを紹介しています。
（2023年12月現在、229社と業務提携）

商流支援

当行100%出資の地域商社「むさしの未来パートナーズ」では、お取引先企業の優れた商品などをより多くの方々に知っていただくため、クラウドファンディングやECサイトを活用し、企画から開発・ブランディング・販売に至るまでの商流全体の伴走支援を行っています。

人材紹介サービス

お取引先企業の事業拡大や新たな事業展開などに貢献する最適な人材を紹介しています。

また、業務を「求職対応」まで拡大し、お取引先企業と求職者双方のニーズにワンストップでお応えできる態勢を整えています。



デジタル・ITを通じた支援

デジタル活用による技術革新等をテーマとした連続セミナーを開催しているほか、業務効率化等に向けたデジタルソリューション提供事業者とのビジネスマッチングなどを行っています。

また、2023年8月より、インボイス制度や改正電子帳簿保存法などにも対応するクラウドサービス「Mikatanoシリーズ」を提供しています。

■クラウドサービス「Mikatanoシリーズ」の提供

他行口座を含む口座情報の一括管理

お取引先への請求手続きの一元管理

インボイス制度への対応

改正電子帳簿保存法への対応

(「Mikatanoシリーズ」は株式会社マネーフォワードが提供するサービスです)

■デジタル活用による技術革新等をテーマとした連続セミナーの開催

経営者・実務責任者向け

製造業技術者向け

■業務効率化などに向けたデジタルソリューション提供事業者とのビジネスマッチング

ECサイトの構築

ホームページ作成支援

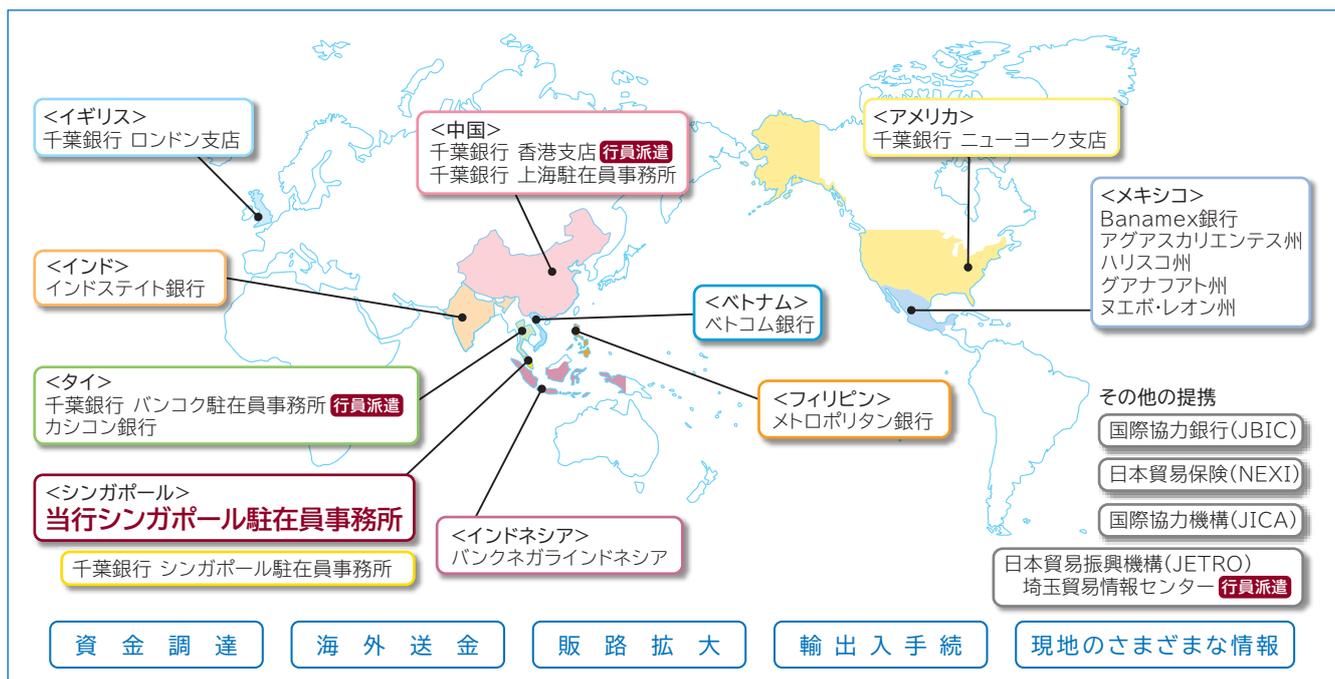
販売・在庫管理システムの導入

RPAソフトウェアの導入

海外進出支援

お取引先企業の海外進出や事業展開を支援するため、シンガポールに駐在員事務所を設置し、現地ニーズに機動的にお応えしています。また、連携・協働による海外ネットワークを通じ、きめ細かな支援を行っています。

●連携・協働のネットワーク



● 公的機関との連携

日本貿易振興機構(JETRO)や国際協力機構(JICA)などと連携し、お取引先企業の海外進出や販路開拓を支援するとともに、海外市場の動向や成功事例を紹介するお客さま向けセミナーを共同開催しています。

また、日本政策金融公庫、中小企業基盤整備機構および日本貿易保険(NEXI)との4者連携による、お取引先企業の海外ビジネス展開に向けた支援スキーム「海外ビジネス支援パッケージ」の取組みを、2023年10月より開始しました。お取引企業の課題・ニーズを4者が共有し、それぞれの強みを活かした切れ目のない支援を行っています。

公的支援制度を活用した支援

関東財務局および関東経済産業局が認定する「経営革新等支援機関」として、中小企業等の経営課題解決のため、行政機関等と連携した支援を行っています。

また、埼玉県が創設した「価格転嫁サポーター制度」に2023年9月より参加しています。お取引先企業との接点となる行員1,000名超がサポーターとなっており、継続的な情報提供や働きかけを行っていくことで、実効性ある支援に繋がっていきます。

▶ 変革期における具体的な取組み

資本性資金の取扱い

企業の財務基盤安定化を図り、事業の維持・拡大に貢献する資金調達手法として「むさしの資本性劣後ローン」を取扱っています。

事業承継支援

後継者問題や事業の承継・多角化などのお悩みに、総合的な支援を行う独自のコンサルティングサービスを用意しているほか、専門機関と連携したサポートを行っています。

● むさしの事業承継サポート

後継者に関するお悩みや、株式移転の時期や方法などの重要な課題を解決し、円滑な事業の承継を行うため、一社一社のご意向および状況に合った計画を作成します。

後継者不在	自社株移転
事業領域拡大	事業承継対策

● 円滑な事業承継を支援する共同ファンド

2022年12月、総額20億円の千葉銀行との共同ファンド「千葉・武蔵野アライアンス2号投資事業有限責任組合」を設立しました。

当ファンドによる株式の一時保有を通じ、お取引先企業の皆さまの円滑な事業承継を支援します。

後継者による株式買い戻し資金確保	M&Aによる第三者への事業売却の準備などにかかる時間の猶予
相続税支払原資の確保	金融機関借入以外の株式買収資金の確保

M&A支援

株式会社日本M&Aセンターや埼玉県事業承継・引継ぎ支援センターなどと連携し、お取引先企業の将来を見据えた最適なご提案を行っています。

「M&Aシニアエキスパート」資格保有者を全店に配置

経営者の高齢化や後継者不足などの課題に適切にお応えするため、事業承継・M&A関連の最上位資格である「M&Aシニアエキスパート」の資格保有者を全店に配置しています。

● M&Aサポートサービス

M&Aに関する情報収集、相手先企業とのマッチングと利害調整、交渉のサポート、実務面のアドバイスなどのメニューをご用意しています。

その他の支援サービス

お取引先企業の経営改善・事業再生に向け、経営改善計画の策定など専門的なサポートを行っています。

経営改善支援・事業再生支援
— 計画策定等 —

ファンドを通じた支援
● 千葉・武蔵野パートナーファンド
● 広域復興支援ファンド

外部機関・専門家と連携した支援

「経営者保証に関するガイドライン」への取組み

中小企業のさらなる成長や円滑な事業承継などに積極的に貢献していくため、「経営者保証に関するガイドライン」の遵守および活用促進に努めています。あわせて、地域密着型金融の実践における「融資慣行」として、本ガイドラインの浸透・定着を図るため、従業員一人ひとりの理解向上にも取り組んでいます。

		2021年度		2022年度		2023年度	
		上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	
新規融資に占める経営者保証に 依存しない融資の件数および割合	新規融資件数	7,638	7,540	8,083	8,127	8,453	
	割合	43.0%	44.4%	45.5%	48.0%	52.6%	
新旧両経営者による保証	件数	1	6	0	0	2	
	割合	1.0%	5.7%	0.0%	0.0%	2.4%	
事業承継時に おける経営者の 保証割合	旧経営者のみの保証	件数	39	21	28	22	25
		割合	37.1%	19.8%	35.4%	33.9%	30.1%
	新経営者のみの保証	件数	53	65	45	35	37
		割合	50.5%	61.3%	57.0%	53.8%	44.6%
経営者による保証なし	件数	12	14	6	8	19	
	割合	11.4%	13.2%	7.6%	12.3%	22.9%	

▶ 地域密着型金融の取組実績（データ集）

お客さまとのリレーション強化

お客さまとの顔の見える関係を活かしながら、さまざまな課題の解決に取り組んでいます。

	2022年9月	2023年9月
メイン先数	9,115社	9,302社
本業（企業価値の向上）支援先数	4,229社	5,538社
中堅・中小企業向け融資残高	1兆6,367億円	1兆6,986億円

企業のライフサイクルに応じた最適なソリューションの提供

一社一社の成長ステージごとに、最適なソリューションをきめ細かく提供しています。

	2022年9月	2023年9月
当行が関与した創業件数	363件	574件
販路開拓支援先数	686社	1,852社
中小企業向け人材支援先数	161社	217社
事業承継支援先数	200社	297社
M&A支援先数	182社	368社
外部専門家を活用した本業支援先数	48社	116社

事業性評価を活用したコンサルティングの強化

事業性評価を活用するとともに、経営者保証ガイドラインを遵守し、担保や保証に過度に依存しない融資の推進と経営支援の強化に努めています。

	2022年9月	2023年9月
事業性評価に基づく融資先数	7,935社	8,794社
経営者保証ガイドライン活用件数割合 (新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の件数割合)	45.5%	52.6%

サステナビリティ経営の支援

ファイナンスやコンサルティングを通じ、お取引先企業のサステナビリティ経営を支援しています。

	2022年9月	2023年9月
サステナビリティ関連融資先数	1,190社	1,592社
サステナビリティ関連コンサルティング支援件数	34件	63件

地域の活性化に関する取組み

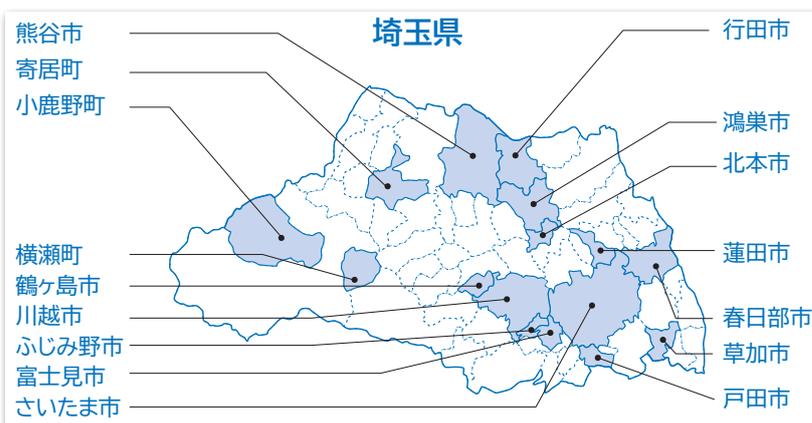
当行では、地域活性化の取組みを最重要課題の一つと認識し、地方公共団体の取組みを支援することはもとより、主体的な担い手の一人として、地域のさまざまな課題解決と新たな価値創造に向け、行政、企業やNPO法人、教育機関等と連携し、引続き積極的に取組んでまいります。



▶ 地方公共団体との連携・協働

地域活性化や住民サービス向上に向け、地方公共団体との連携・協働を進め、さまざまな取組みを展開しています。

包括協定の締結
埼玉県および16市町
(2024年1月現在)

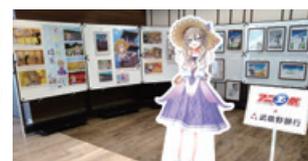


TOPICS 地域創生スペースを活用した 県内自治体の情報発信

本店ビルの地域創生スペース「M's SQUARE」では、春日部市のさまざまな魅力を発信するPR展や、国内有数のアニメ・マンガの総合イベント「アニ玉祭」とコラボした企画展など、県内自治体と連携した情報発信を積極的に行っています。



春日部市PR展



アニ玉祭企画展

▶ 地方公共団体との取引推進

地方公共団体や諸団体との取引推進、コンサルティング活動の充実に取組み、県内全ての市町村とお取引いただいています。

指定金融機関	横瀬町、朝霞地区一部事務組合、朝霞和光資源循環組合、草加八潮消防組合、茨城県五霞町
総括出納取扱金融機関	埼玉県下水道局の公金事務取扱
指定代理金融機関	埼玉県、さいたま市、朝霞市、日高市、幸手市

▶ 地域活性コンソーシアム

産学官金の連携による地域活性化を目的に設立した「がぎん地域活性コンソーシアム」では、さまざまな課題解決と新たなビジネス創出に向け、情報交換やノウハウ共有に取り組んでいます。

▶ 地域課題解決に向けて

本店ビルを帰宅困難者の一時滞在施設として提供

さいたま市との協定に基づき、大規模災害時に帰宅困難者200名を受け入れます。市や大宮駅周辺事業者と合同で訓練を実施するなど、有事の際の対応力向上を図っています。

- 食料・飲料・毛布など物資の提供
- トイレ・水道など設備提供



帰宅困難者を受け入れる大会議室



合同訓練

災害に備えた取組み支援

埼玉県内自治体および株式会社デベロッパと連携し、災害時におけるレスキューホテル提供や、市民の皆さまへの情報発信を支援しています。

連携自治体

加須市、川口市、草加市、戸田市、東松山市、吉見町(50音順)



災害時に仮宿泊施設となるレスキューホテル(移動式コンテナ客室)



空き家問題解決に向けて

埼玉県内自治体および株式会社クラッソーネと連携し、空き家問題解決のため、市民向けセミナーの開催や、「空き家活用ローン」を通じた資金面の支援に取り組んでいます。

連携自治体

朝霞市、熊谷市、さいたま市、飯能市(50音順)

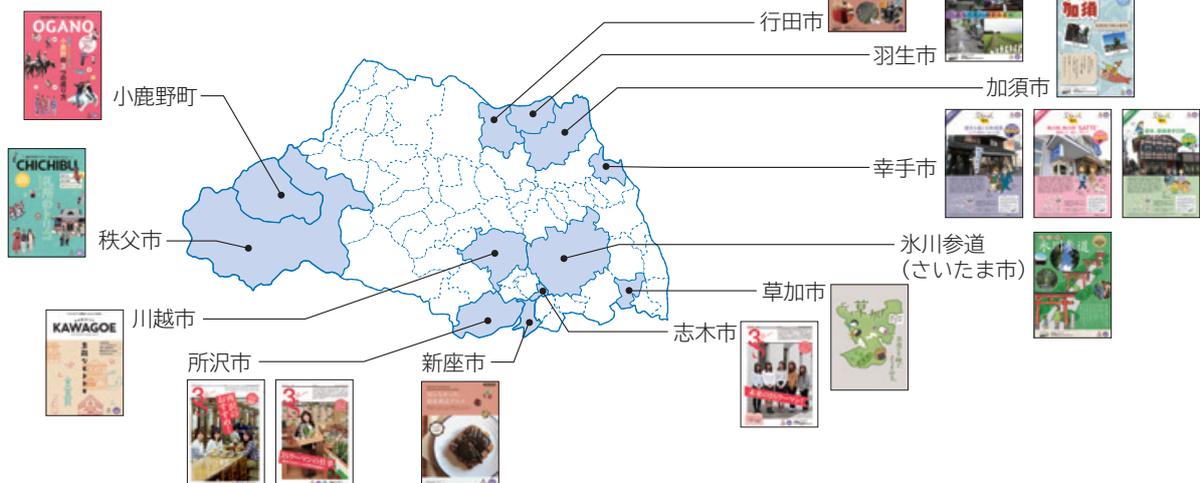
シティプロモーションの取組み

交流・関係・定住の各人口の増加という地方公共団体の課題に対応し、地域の持続的発展や活性化に貢献するため、その地域の魅力発信に取り組んでいます。これまでに、「移住・二拠点居住」をテーマとしたセミナーや、自治体の「ふるさと納税」の取組みを支援するための研究会などを開催しています。

地域情報紙「ぶらって」シリーズ

2007年より立教大学と連携し、観光を通じた地域活性化に向け、学生の視点や思いを込めたまち歩きマップ「ぶらって」シリーズを継続的に制作しています。

これまでに11シリーズ・12地域を取り上げ、現在は最新号となる「ぶらって朝霞」を制作中です。



NPO法人の課題解決を応援

地域の共助社会づくりの重要な担い手であるNPO法人の皆さまのさまざまな課題解決に向けた連携を図るため、埼玉県と「共助社会づくりのための協力に関する協定」を締結し総合的なサポートに取り組んでいます。

▶ 成長分野への取組み

農業分野への取組み

農業分野に特化した専門チームを中心に、異業種による新規参入支援など地元銀行ならではのソリューションを提供しています。2023年6月からは、県内農業を取り巻く課題を銀行が主体的に解決していくことを目指す「むさしのアグリイノベーションプロジェクト」を新たに開始しました。(プロジェクトの概要は15ページをご覧ください)

新規就農・異業種からの参入支援

資金調達(専用融資商品)

セミナー等を通じた経営革新支援

販路拡大に向けたビジネスマッチング

地域産品を活用した新商品開発支援

県内農業の課題解決プロジェクト展開

医療・福祉分野への取組み

当行は2005年より県内でいち早く専門チームを設置し、医療・福祉分野の課題解決に向けた活動を行っています。医療機関専用融資商品「むさしのメディカルパートナー」を取扱っているほか、医療機関や社会福祉法人の方々に対し、制度改革への対応やICT導入による業務改革などをテーマとしたセミナーを開催しています。

▶ ものづくり支援の取組み

業務効率化やカーボンニュートラルへの対応等の経営課題を有する製造業のお客さまに向けて、外部機関との連携により課題解決を支援しています。また、県内製造業の競争力強化を目指す「ぶぎんものづくり経営塾」や、デジタル戦略や生産現場のデジタル化などをテーマとした「デジタルアカデミー」等のセミナーを継続的に開催しています。

主な連携機関

- ITコーディネータ協会
- 埼玉県DX推進支援ネットワーク
- 埼玉県産業振興公社
- 埼玉県よろず支援拠点 など

▶ 産学官連携を通じた支援

県内に拠点を置く8大学と連携し、お取引先企業の研究開発・経営革新などの経営課題解決を支援しています。

連携大学と主な専門分野

- 西武文理大学(狭山市) ▶ サービス産業
- 日本工業大学(宮代町) ▶ AIやIoTなど先進工学
- 東洋大学(川越市) ▶ 製造・工業分野
- 埼玉県立大学(越谷市) ▶ 介護・福祉分野
- 埼玉大学(さいたま市) ▶ 文系・理系の広汎な分野
- 立教大学(新座市) ▶ 観光産業
- 埼玉工業大学(深谷市) ▶ 電気分野
- 平成国際大学(加須市) ▶ 健康・スポーツ分野

TOPICS 西武文理大学 「埼玉魅力発信イベント」

2023年12月、西武文理大学および一般社団法人 埼玉県物産観光協会と連携し、狭山茶の魅力発信イベント「飲んで 茶いたま」を「M's SQUARE」で開催しました。本イベントでは、狭山市の老舗茶園の方を講師に招いたワークショップや、狭山茶を使用した商品の物産展などを行いました。



埼玉県立大学 「笑顔はつらつ健康体操」

埼玉県立大学と共同で開発したオリジナルの健康体操「笑顔はつらつ健康体操」をホームページで公開しています。また、年金支給日には「M's SQUARE」で埼玉県立大学の先生と学生による健康体操教室を開催しています。



▶ 新たな産業の創造へ 「見沼たんぼ“小麦”6次産業創造プロジェクト」

さいたま市の「見沼たんぼ」での小麦の生産復活と新たな産業の創造に向け、「見沼たんぼ“小麦”6次産業創造プロジェクト」を立ち上げ、地域の皆さまとともに継続的に取組んでいます。(プロジェクトの概要は15ページをご覧ください)